



ちば消防共同指令センター  
(119番通報のお願い) /  
平成24年災害発生状況 /  
データ放送開始……………2  
春季全国火災予防運動実施 /  
平成24年度火災予防ポスター展 /  
消防水利の点検について……………3  
ご協力ありがとうございました  
(消防協力者表彰)……………4



# ブラインド型震災対応訓練を実施!

消防組合では、平成24年9月11日(火)、12日(水)の2日間で、震災対応訓練を実施しました。この訓練は、東日本大震災から1年6か月が経過したことを契機に、「震災対応能力の向上」をメインテーマに掲げ、ブラインド型訓練として実施しました。訓練には、職員各日約60名及び日本医科大学千葉北総病院(印西市鎌刈)の医師と看護師が参加し、震災時における倒壊建物からの要救助者救出を目的に、次の4点を重点目標として実施しました。

- ① 高度救助資機材の使用技術、知識の習熟
- ② 集団災害発生時における対応能力の向上及び効率的な部隊運用
- ③ 各隊の連携強化及び指揮隊との連携・情報伝達の評価と検証
- ④ 現場における医療チームとの連携



強化  
また、訓練後の意見交換会に日本医科大学千葉北総病院の医師を招き、これからの消防と医療との連携などを話し合い、更に訓練を重ね大規模災害や多数傷病者発生事故に際し、迅速な対応ができるよう災害対応能力の向上に努めることを確認しました。

※ブラインド型訓練とは、実施者に事前に訓練の進行やシナリオを与えず、想定のみ与える実践的な訓練です。



# NBC災害訓練を実施!



平成24年12月10日(月)、11日(火)の2日間で、佐倉消防署庁舎を使用し、NBC災害を想定した訓練を千葉県警NBC隊と合同で実施しました。NBC災害とは、原発事故のような核燃料物質(放射性物質)による災害、炭疽菌事件のような生物剤(B: biological)による災害、サリン事件のような化学物質(C: chemical)による災害をいい、多数の負傷者が発生する恐れがあるため、関係機関との連携体制を確立しておく必要があります。訓練内容は「公衆浴場で特殊災害(C災害)が発生し多数の負傷者がいる」という想定のもと、化学防護服を着た消防組合救助隊員と千葉県警NBC隊員が建物内に進入、有毒ガス測定器による計測の他、要救助者を救出して救急隊へ引き継ぎ応急処置を行うなど、本番さながらの訓練となりました。

この訓練は、仮想航空機を設置した訓練場において実際に油火災を発生させ消防活動を行い、成田国際空港消防連絡協議会の消防技術の向上を図ることを目的とし、毎年実施するものです。訓練内容は、成田国際空港消防訓練場で、滑走路において油火災が発生した想定(十字溝に燃料を流し込み着火)と航空機が炎上した想定(円状油槽内にバスを配置し、燃料を流し込み着火)での消防救難活動を行いました。この様な特殊災害への対応を万全にし、発災時の被害の拡大を防止するために、日ごろから様々な訓練を実施しています。



# 成田国際空港油火災消火訓練に参加!



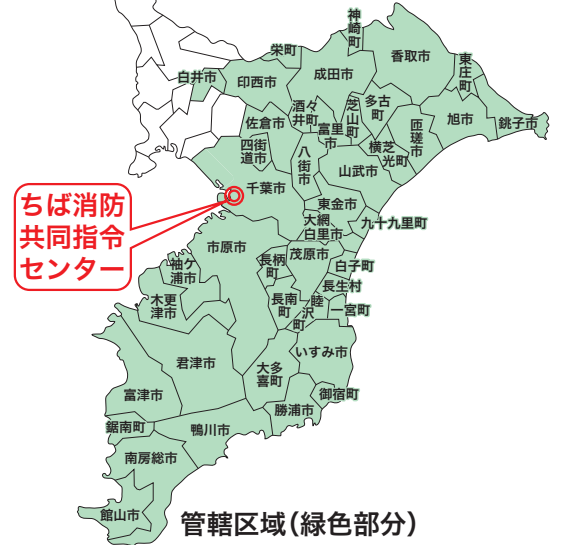
平成24年12月14日(金)未明、成田国際空港消防連絡協議会において実施された油火災消火訓練に参加しました。この訓練は、仮想航空機を設置した訓練場において実際に油火災を発生させ消防活動を行い、成田国際空港消防連絡協議会の消防技術の向上を図ることを目的とし、毎年実施するものです。訓練内容は、成田国際空港消防訓練場で、滑走路において油火災が発生した想定(十字溝に燃料を流し込み着火)と航空機が炎上した想定(円状油槽内にバスを配置し、燃料を流し込み着火)での消防救難活動を行いました。この様な特殊災害への対応を万全にし、発災時の被害の拡大を防止するために、日ごろから様々な訓練を実施しています。



今回は警察と合同で訓練を行うことにより、普段実施することのできない関係機関との情報の共有化、連携体制を確認することができました。



### ちば消防共同指令センター 119番通報のお願い



ちば消防  
共同指令  
センター

管轄区域(緑色部分)

平成24年12月6日(木)から、これまで当消防組合で受信していた119番通報を千葉市消防局内に設置した「ちば消防共同指令センター」で受信しています。

ちば消防共同指令センターでは、千葉県北東部・南部の20消防本部が管轄する43市町村(右図参照)からの119番通報の受信や、消防車・救急車の無線管制等の通信指令業務の運用を共同で行っています。共同運用を行うことで、業務の効率化が図られるとともに、各消防本部の連携及び情報の共有が可能となり、隣接地域や大規模な災害時の相互応援体制が充実強化されます。

119番通報の方法は今までと変わりませんが、ちば消防共同指令センターは、20消防本部が管轄する広い範囲からの119番通報を受信します。そのため、通報時には必ず「市町村名」を伝えてください。また、固定電話からの通報は位置情報通知装置に

### 消防本部代表番号の 音声ガイダンス案内開始

平成24年12月6日(木)から通信指令業務の共同運用が開始されたことに伴い、消防本部代表番号043(481)0119が音声ガイダンスによる案内になりました。消防本部にご用の方は、音声の案内により、該当する番号をお選びください。ご理解とご協力をお願いします。

消防本部指揮指令課  
043(481)0119

### 登録のお願い

メール119番は、言語や聴覚などに障がいをお持ちの方が、携帯電話やパソコンのメールを利用して消防車や救急車を呼ぶことができます。

登録出来る方  
・佐倉市、八街市、酒々井町にお住まいの方  
・佐倉市、八街市、酒々井町の会社やお店に勤めている方

・佐倉市、八街市、酒々井町の学校に通っている方  
※利用には申し込みが必要ですので、事前に手続きをお願いします。

申込み方法  
●ご利用案内は、消防本部指揮指令課、消防組合管内の各消防署及び出張所、佐倉市役所障害福祉課、八街市役所福祉課、酒々井町役場健康福祉課で配付しています。

また、消防組合ホームページからダウンロードすることもできます。

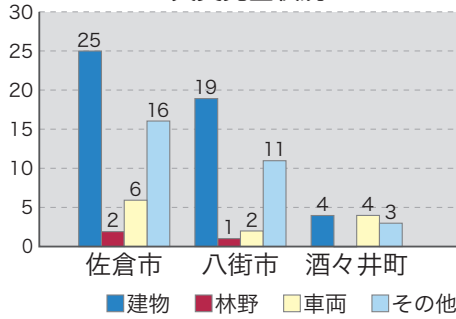
●ご利用案内の「メール119番通報申込書」に必要事項を記入して、郵送又はFAXでお送りいただくか、直接、消防本部2階「指揮指令課」まで持参してください。詳細については、消防組合ホームページで確認してください。

お問い合わせ先  
消防本部指揮指令課  
043(481)0119  
043(485)2310

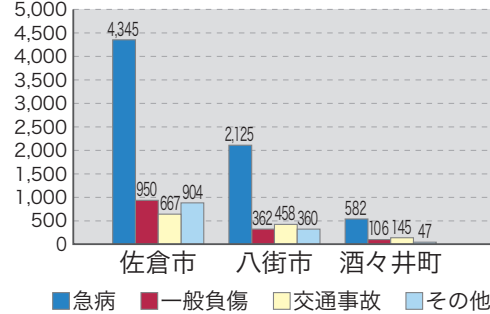
### 平成24年災害発生状況(平成24年1月～12月末日)

火災発生件数は93件で、前年と比較して28件の減少であり、構成市町別にみると佐倉市が49件で21件の減少、八街市が33件で5件の減少、酒々井町が11件で2件の減少です。過去5年間の火災件数の平均は100件で、これと比較すると平成24年は火災が例年よりも減少した年と言えます。また、火災種別で最も多いのが「建物火災」で48件でした。次いで「その他火災」が30件、「車両火災」が12件、「林野火災」が3件です。出火原因別では、「放火(放火の疑いを含む)」が最も多く29件、次いで「たき火」が12件、「火遊び」が6件です。

火災発生状況



救急出場状況



救助出動件数は72件で、6件で99件の増加、八街市が3,305件で164件の増加、酒々井町が880件で31件の減少です。

事故種別では「急病」が最も多く7,052件、次いで「一般負傷」が1,418件、「交通事故」が1,270件です。前年と比較して19件の増加であり、構成市町別にみると佐倉市が39件、八街市が28件、酒々井町が5件です。事故種別では「交通事故」が最も多く42件、次いで「火災」が4件、「水難事故」及び「機械による事故」がそれぞれ3件です。

### ～安全な帰宅のために～

職場や学校、外出先など、自宅から離れた場所にいるときに、大規模な災害が発生すると、帰宅が困難になることが予想されます。災害が発生したら、むやみに移動を開始せず、身の安全を確保するとともに、落ち着いて交通情報や被害情報等を確認し、適切な行動を心がけましょう。

(千葉県帰宅困難者等対策連絡協議会)

※詳細は、消防組合ホームページに掲載しています。

### 平成24年11月、八街消防署に配置している 高規格救急自動車を更新しました

この救急自動車は、4輪駆動で走行性能に優れ、また、高度救命処置用資機材を積載し、救急救命士が救命処置を行うための十分なスペースが確保されています。

私たち消防は、救命率の向上のために日ごからの訓練、必要な知識の習得及び高性能な救急自動車への更新を行っています。

なお、救急自動車は、「緊急」に病院へ傷病者を搬送するための、皆さんの大切な共有財産です。

今、本間に救急自動車を必要としている方のために、適正利用にご協力をお願いします。



### データ放送開始!

平成24年10月19日(金)から(株)広域高速ネット二九六チャンネル296(地上デジタル11CH)によるデータ放送と情報連携を開始しました。

これにより、迅速な情報提供が可能になり、これまでの構成市町広報紙等によるお知らせと併せ、更に充実した内容の広報を目指していきたいと考えています。なお、視聴方法は次の3ステップです。

- ① 地デジ11CHに合わせる。
- ② リモコンのdボタンを押す。(データ放送スタート)
- ③ リモコンの▲・▼・▶・◀・決定・戻るボタンで操作

※操作方法についてのお問い合わせは、(株)広域高速ネット一九六へお願いします。

お問い合わせ先  
消防本部総務課企画調整室  
043(481)1207



### 春季全国火災予防運動実施

3月1日(金)～7日(木)

【平成24年度全国統一防火標語】  
消すまでは 出ない行かない 離れない

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として毎年実施しています。



### 住宅用火災警報器設置済シール

【住宅防火いのちを守る7つのポイント】  
1 3つの習慣・4つの対策

#### 【3つの習慣】

- ①寝たばこは、絶対やめる。
- ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

#### 【4つの対策】

- ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ②寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



《原寸大》

消防組合では、地域の事業所が加入する佐倉防火安全協会の協力を得ながら、地域の防火対策の推進を目的に、既に住宅用火災警報器が設置済みの世帯に「住宅用火災警報器設置済シール」を配付しています。このシールは、法的効力があるわけでもなく、義務でもありません。

従って、シールを受け取る側の意思で玄関先等に貼っていたら、「安心シール」です。詳しくは、最寄りの消防署又は出張所へお問い合わせください。

### 住宅用火災警報器お手柄事例 (総務省消防庁資料)

【隣人等が警報音に気付き、火災発生に至らなかった主な事例】

当事者の男性(64歳)が飲食後に帰宅し、味噌汁鍋をガステーブルに掛け、そのまま1階居間で寝てしまい鍋を焦がしたため、1階寝室に設置してあった住警器(煙式)が発報した。その後、隣人の男性2名が住警器の警報音で駆け付け、ガスを切り、当事者を起こし早期の119番通報により火災に至らなかった。

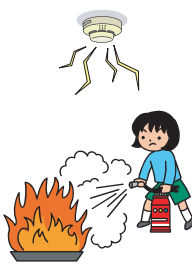
(福島県郡山市)

95歳男性が煮物の鍋をガスこんろにかけ点火後、友人からの電話での誘いで外出、鍋の内容物が焦げ煙が発生し住警器が作動、当該住警器と連動(無線)の補助警報装置を設置した隣の主婦が気付き119番通報した。

(沖縄県糸満市)

新聞配達員が就業中、共同住宅1階付近にて住警器の鳴動音に気づき、1階102号室の出入り口ドアを叩いたところ、居室内より居住者が避難し、新聞配達員が消防へ通報した。

(埼玉県戸田市)



### 平成24年度 火災予防ポスター展



《最優秀賞 金子 雄大さんの作品》

### 消防水利の点検について

皆さんは消防水利をご存知ですか。消防活動に使用する水を消防隊に供給するもので、消防の活動に欠かすことのできないものです。代表的なものとして、消火栓や防火水そうがあり、プールや河川などもこれに含まれます。

平成24年度の火災予防ポスター展は、消防組合管内27校の小学校から683点の応募があり、最優秀賞のほかに入賞作品68点が選ばれ、入賞者全員に賞状と記念品を贈呈しました。応募ありがとうございました。

皆さんは消防水利をご存知ですか。消防活動に使用する水を消防隊に供給するもので、消防の活動に欠かすことのできないものです。代表的なものとして、消火栓や防火水そうがあり、プールや河川などもこれに含まれます。消火栓は主に歩道や車道に設置されていて、地下に埋設された水道管に消防用ホースを接続するために設けられた水道栓で、消火活動に有効な水量が得られます。防火水そうは消防用水を常時貯めている水そうで、地震時等、消火栓が使用できない場合にも効力を発揮します。

消防水利は、災害時に皆さんの安全を守るために設置されている大切な施設です。消火栓や防火水そう付近に物を置いたり車を止めたりしないように気を付けましょう。



消火栓点検の様子



消火栓の蓋には丸いものと四角いものがあります



消火栓と標識



防火水そうの中の様子



防火水そうの蓋には金属製の他に、コンクリート製もあります



防火水そうと標識

- 最優秀賞
  - 佐倉市立王子台小学校 6年生 金子 雄大さん
- 消防長賞
  - 佐倉市立小竹小学校 6年生 近藤 彩良さん
  - 佐倉防火安全協会会長賞 佐倉市立下志津小学校 6年生 一條 瑞穂さん
- 佐倉消防署長賞
  - 佐倉市立和田小学校 4年生 大川 久瑠美さん
  - 志津消防署長賞 佐倉市立小竹小学校
- 特別賞(2名)
  - 佐倉市立佐倉東小学校 6年生 畠山 千鶴さん
  - 八街市立美住小学校 3年生 大沼 菜央さん
- 2年生
  - 松澤 里歩さん
- 八街消防署長賞
  - 八街市立八街東小学校 1年生 井上 美紅梨さん
- 酒々井消防署長賞
  - 酒々井町立酒々井小学校 4年生 小池 豊さん



佐倉市八街市酒々井町消防組合ツイッター公式アカウント  
緊急情報及びイベント等についてツイートしています。  
ぜひ、フォローをお願いします。

「ご協力ありがとうございました」

消防活動にご協力いただいた方に、消防組合から感謝状を贈りましたので、ご紹介いたします。

★消防協力者表彰

佐倉消防署長表彰

【平成24年9月16日、佐倉市鍋木町で発生した建物火災における消火協力】

(写真右から)

森川 裕介さん

(酒々井町上本佐倉在住)

荒井 憲司さん

(佐倉市鍋木町在住)

荒井 文夫さん

(佐倉市鍋木町在住)



【平成24年9月28日、佐倉市石川で発生した交通事故における救急救護活動】

(写真右から)

内多 祐将さん

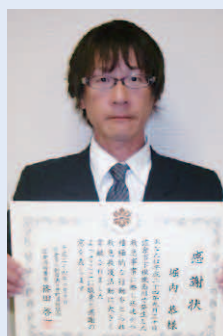
(愛知県名古屋市長在住)



【平成24年9月30日、佐倉市下根鹿島川で発生した救急救助事案における消防協力】

堀内 恭さん

(東京都中央区在住)



消防組合議会議員が改選されました

◇八街市議会選出

【就任】平成24年9月26日付

中田 眞司 議員

【退任】平成24年9月25日付

鯨井 眞佐子 議員

救急救命士の処置範囲に係る実証研究にご理解・ご協力いただきました

平成24年11月1日から平成25年1月31日までの間、病院前救護体制として救急救命士が次に掲げる3項目の処置を行うことにより、傷病者の救命率の向上や後遺症の軽減を図れるか否かの他、運用の実効性並びに安全性等を検証することを目的として、厚生労働省科学研究費補助金「救急救命士の処置範囲に係る実証研究」が行われてきました。

①意識障害傷病者への血糖測定・ブドウ糖溶液の投与  
②重症せんそく発作傷病者への吸入薬の使用  
③ショック状態の傷病者への心肺停止前の点滴

今後、厚生労働省科学研究費補助金「救急救命士の処置範囲に係る実証研究」の「救急救命士の業務のあり方等に関する検討会」へ、有効性、安全性等について報告が行われます。引き続き、救急業務の高度化・病院前救護体制の充実強化のため積極的に取り組んでいきますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ先  
消防本部警防課救急救係  
043(481)1248

人事行政運営等の状況

佐倉市八街市酒々井町消防組合の職員の内、任用、服務や勤務条件などの人事行政の運営等の状況及び職員の給与・定員管理の状況等を管内住民の皆さんにご理解いただくため、次のとおり公表します。詳しくは、消防本部総務課 ☎043(481)1190へ

1. 職員の任免及び職員数に関する状況について

◎採用・退職者数

Table with columns: 採用者数, 退職者数. Values: 6, 7.

◎職員数の状況

Table with columns: 平成23年, 平成24年. Values: 372, 372.

2. 職員の給与等の状況について

◎職員の平均給与月額等

Table comparing salary and benefits for fire and non-fire staff in FY23 and FY24.

3. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況について

◎勤務時間の状況(平成24年4月1日現在)

Table showing start/end times and rest periods for daily and alternate-day staff.

4. 職員の分限及び懲戒処分の状況について

◎職員の分限処分の状況(平成23年度)

Table showing disciplinary actions: 降任, 免職, 休職, 降給. Values: 0, 0, 18, 0.

◎職員の懲戒処分の状況(平成23年度)

Table showing disciplinary actions: 戒告, 減給, 停職, 免職. Values: 0, 0, 0, 0.

5. 職員の服務の状況について

◎年次有給休暇の状況(平成23年度)

Table showing average days of leave used and utilization rate: 10.9, 27.7%.

6. 職員の研修及び勤務成績の状況について(平成23年度)

職員の消防業務等に関する基礎研修及び専門研修として、消防大学校、千葉県消防学校、救急振興財団などの救急救命士研修及び千葉県自治研修センターなどの各種研修機関などを利用し、階層別、職務別研修などを実施しております。

また、消防組合独自の職員研修として、人事評価者研修などを実施しております。更に、全職員を対象とした安全運転講習や職員の一般教養に関する研修会などを実施し、職員の消防、その他の分野における能力アップを目的とした研修なども実施しております。

また、職員の職務について、定期的に能力や実績などに関する勤務成績の評価を行い、その評価の結果に基づき、昇任などを行っております。

7. 職員の福祉及び利益の保護の状況について(平成23年度)

(1) 職員の安全と健康に関する事業

安全責任者及び産業医、衛生管理者などを選任するとともに、安全関係者会議及び衛生委員会を設置して職員の安全と健康の確保、職場環境の改善を図っております。

また、職員の健康管理状態を把握し、健康障害や疾病の早期発見を行うための定期健康診断や産業医による職場巡視・健康相談などを実施しております。

その他、災害現場での感染症予防のため、B型肝炎・破傷風などの予防接種を実施しております。

(2) 公務災害の発生状況 認定請求中事案 8件

(3) 佐倉市八街市酒々井町消防組合職員共済会による福利厚生事業

概要: 職員共済会に助成金(平成23年度決算額)2,232,000円(1人あたり6,000円) 事業内容: スポーツ大会、救急医薬品配備等を実施

(4) 千葉県市町村職員共済組合による福利厚生事業

概要: 共済組合負担金(給料額に定められた割合を乗じた金額) 事業内容: 出産費支給等保健事業、年金事務、各種福祉事業を実施

(5) 千葉県市町村職員互助会による福利厚生事業

概要: 互助会負担金(給料額に定められた割合を乗じた金額) 事業内容: 千葉県市町村職員共済組合事業の補完的業務を実施

8. 千葉県市町村公平委員会の業務の状況について(平成23年度)

(1) 勤務条件に関する措置要求の状況 該当なし

(2) 不利益処分に関する不服申立ての状況 該当なし

平成23年度決算状況

(1) 歳入

Table of revenue items and amounts: 歳入合計 4,457,639,972.

(2) 歳出

Table of expenditure items and amounts: 歳出合計 4,362,340,248.

(3) 性質別歳出決算額

Table of expenditure by nature: 歳出合計 4,362,340,248.

(4) 構成市町別分担金

Table of contribution by city/town: 合計 4,020,076,534.